

水道における微生物対策の実施状況について



環境省は2024年12月9日に、2024年度第1回水道における微生物問題検討会を行いました。その中で、微生物対策の実施状況として、水道における残留塩素濃度に関する事故事例や、クリプトスポリジウム等の検出による対応状況等が発表されました。

報告された水質関連事故のうち、今年度11月までに発生した塩素消毒に関する事故事例は8件ありました。いずれも健康被害は出ていないものの、残留塩素不検出により大腸菌の検出や、一般細菌の基準値超過事例が報告されています。これらの事故の要因として、塩素注入設備の不具合が多く、設備の修繕や点検・測定頻度を増やす等の対応が実施されています。

また、水道の浄水等からクリプトスポリジウム等が検出されたことによる給水停止等の対応状況については、今年度11月末の間で該当する事例はありませんでした。

当社では、水道法第20条に基づく国土交通大臣及び環境大臣登録水質検査機関として長年の実績と豊富な経験があります。詳しくは、当社細菌検査担当者（フリーダイヤル0120-01-2590）までお気軽にお問い合わせください。

資料 [2024年12月24日開催 環境省 2024年度第2回水質基準逐次改正検討会資料](#)